

かごしま無形民俗文化財（民俗芸能）伝承活動表彰について

文化財課

無形民俗文化財を取り巻く課題

無形民俗文化財は、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能や民俗技術からなる文化財です。県内には太鼓踊りや棒踊りなどの民俗芸能、伝統的な祭り・行事、芭蕉布や葛布等の製作技術といった様々な無形民俗文化財が継承されています。

近年の人口減少や過疎化、少子高齢化といった社会問題は、文化財の保存・継承にも大きく影響しています。特に、地域の力によって支えられてきた民俗芸能等は、その継承が喫緊の課題となっています。また、その状況にさらに追い打ちをかけるように新型コロナウイルス感染症が蔓延し、祭り・行事の開催の自粛、地域の方々が集まる機会の減少など、文化財の継承には危機的状況が生じています。

県教委では、地域に受け継がれてきた民俗芸能等を保存・継承していくため、全ての県民が自分たちの宝は自分たちで守り伝えていくという思いを共有し、地域社会総がかりで文化財を保存・活用する仕組みを作っていきたいと考えています。

表彰の目的と対象

かごしま無形民俗文化財（民俗芸能）伝承活動表彰は、本県の民俗芸能伝承活動に取り組んでいる児童生徒を表彰することにより、その伝承意欲を高め、後継者の育成を図ることを目的としています。

表彰の候補者については、毎年6月～8月頃に市町村教育委員会を通して保存団体からの推薦を募集しています。

かごしま民俗芸能活動奨励賞

概ね2年以上、国・県・市町村指定の無形民俗文化財の伝承活動に取り組んでおり、当該無形民俗文化財の保存団体から推薦のあった児童生徒を表彰しています。この賞は、令和元年度に創設しました。

かごしま民俗芸能活動特別奨励賞

概ね5年以上、国・県・市町村指定の無形民

俗文化財の伝承活動に取り組んでおり、リーダー的存在として活動するなど、伝承活動に特に貢献し、当該無形民俗文化財の保存団体から推薦のあった児童生徒を表彰しています。

継続した保存・継承活動と今後のさらなる活躍を願い、令和4年度に創設しました。

令和4年度の表彰

かごしま民俗芸能活動奨励賞

13団体75人の児童生徒を表彰しました。



【曾於市：野町そば切り踊り】

かごしま民俗芸能活動特別奨励賞

6団体7人の児童生徒を表彰しました。



【令和4年度被表彰者 永田まあじょりさん】
（徳之島町提供）

※ 被表彰者の所属団体やその活動状況等は、こちらから⇒

